

チャラ男  
爆乳

たち

墮

とされた

淫乱  
ママ

ゆるふわ義母は  
ビッチでビッチに大変身!

私<sup>やえがし</sup>八重樫<sup>まゆみ</sup>真由美は  
近所の商店街で  
福引をしたところ…

大当たり！  
一等賞です！

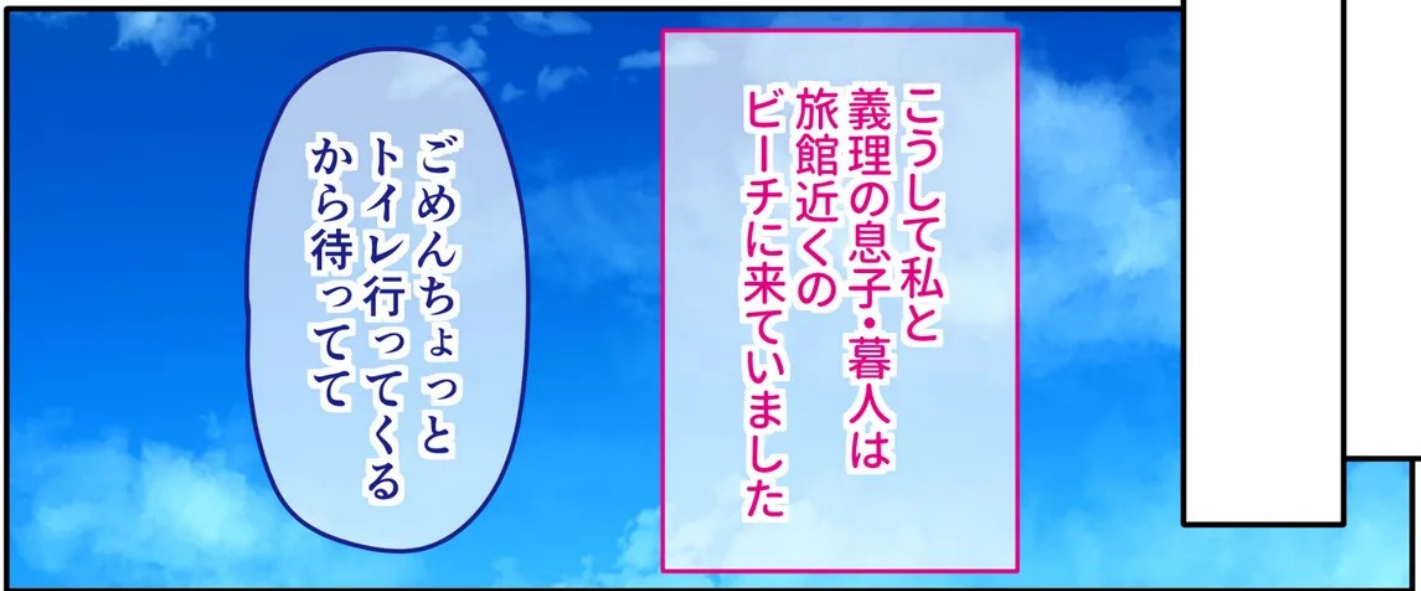
あらあら〜

ママね  
これ当てちゃった〜

海のそばにある  
温泉旅館の  
ペア旅行券なの

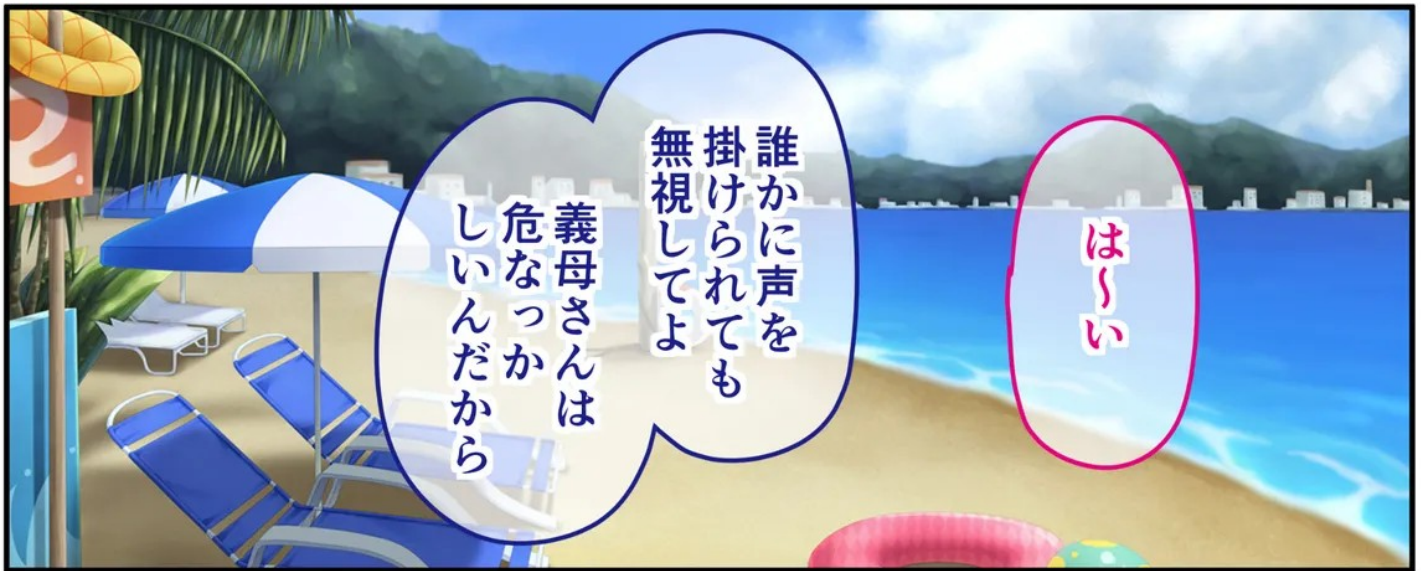
お父さんは  
単身赴任でいないし

暮人<sup>くれひと</sup>一緒に  
どうかしら〜？



ごめんちよつと  
トイレ行ってくる  
から待ってて

こうして私と  
義理の息子・暮人は  
旅館近くの  
ビーチに来ていました



義母さんは  
危なっか  
しいんだから

誰かに声を  
掛けられても  
無視してよ

は〜い



そ…  
そんなこと…

めっっちゃ  
かわいいじゃん〜

あれ〜お姉さん  
一人で来たの？



あっ…あんっ

だめよ  
おばさん  
困っちゃうわ

だめ…  
暮人に無視してって  
言われてるのに  
こんなに触られたら…

モミ

モミ

すわっ

キュン

キュン



乳首が大きくなってるよ

はああ…  
ああん…

セーブル



お姉さん本当に困ってるの？

胸を揉まれて  
気持ちよくなっちゃうてる  
んじゃないの？

セーブル



場所変えよっか

でもあそこ濡れてるよ？

じわ…



はあ

はあ

おばさん夫も息子もいるのお〜

あそこだけは許してえ〜…



あそこを濡らした水着のままじゃ息子さんに会えないだろ？

ごめんなさい暮人…

それは…そうだけど…

じゃあ着替えるために人のいないところへ行こうぜ



ひゃっ…



すごく  
大きい…

はっ…  
あぁ…

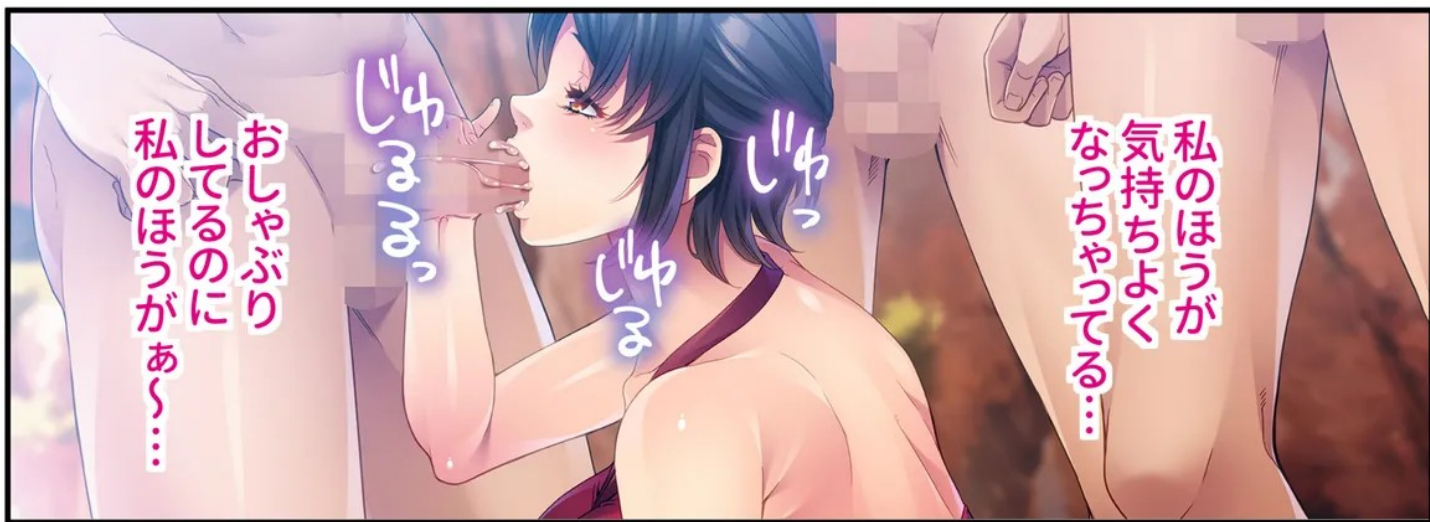
旦那さんのと  
比べてどうよ？



ポロリン

そ、そんなこと  
聞かれてもおお…

ねえお姉さん  
俺たちのどうよ？



おしゃぶり  
してるのに  
私のほうがあ…

じゅわん  
じゅわん  
じゅわん

私のほうが  
気持ちよく  
なっちゃってる…

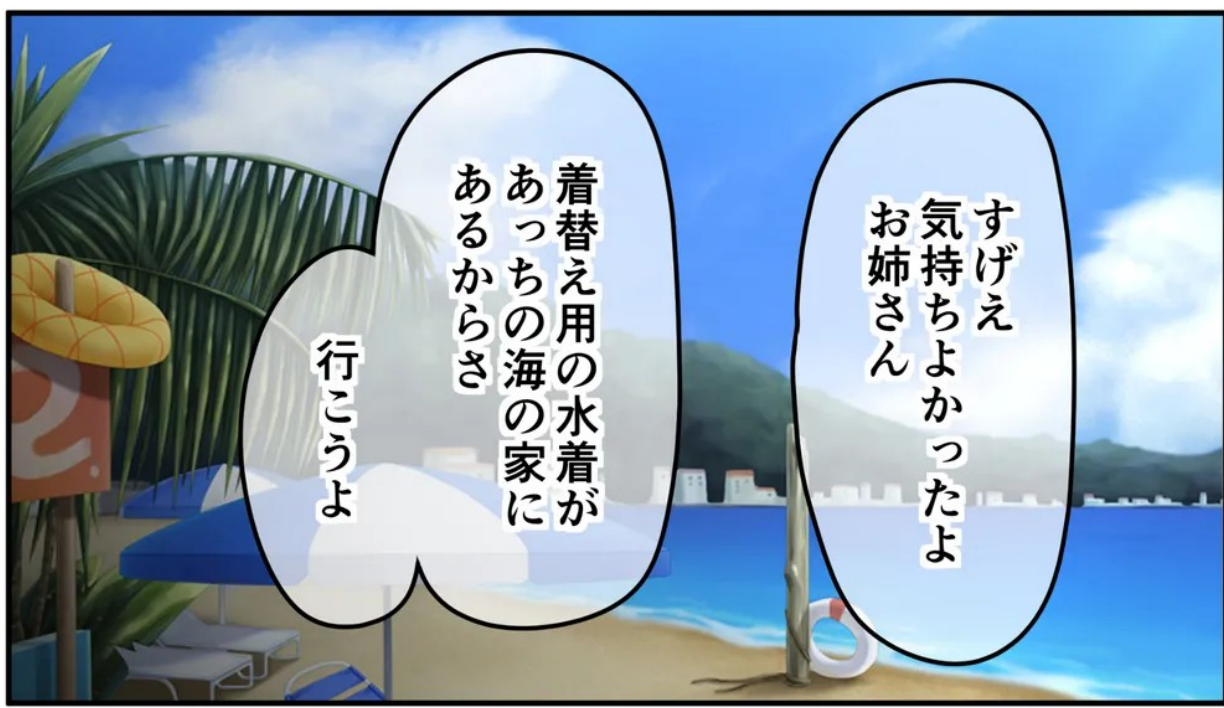




あああ…  
私もイツチャウ…!!  
イツチャウ…!!

こんなこと…  
夫にしたときは  
なかったのに…

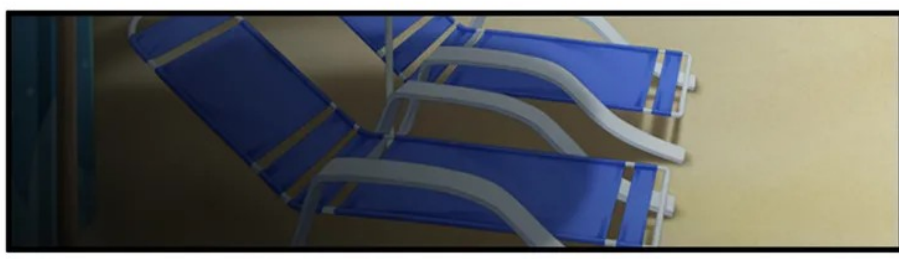
セクッ  
セクッ  
セクッ  
セクッ  
セクッ

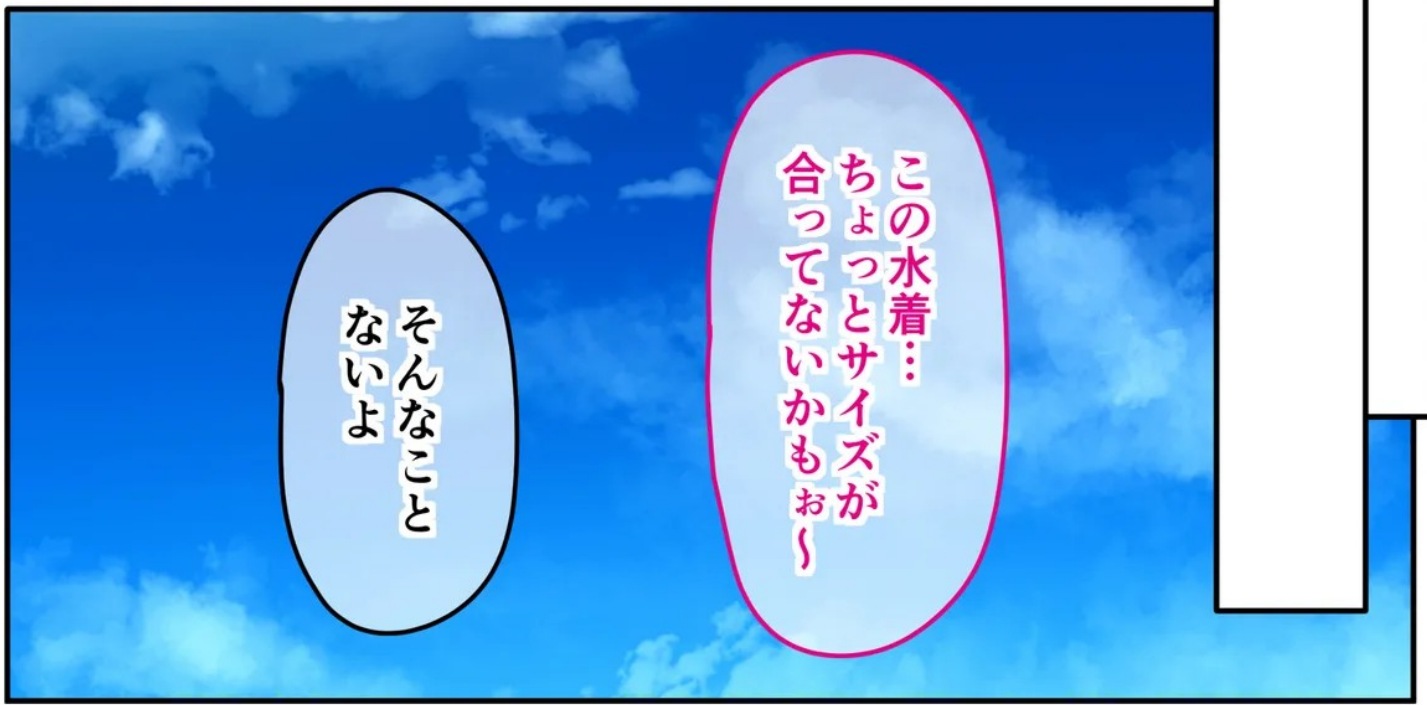


すげえ  
気持ちよかったよ  
お姉さん

着替え用の水着が  
あっちの海の家  
あるからさ

行こうよ





この水着：  
ちよつとサイズが  
合っていないかもおろ

そんなこと  
ないよ



んはあ…

このサイズで  
合ってるって

ああん…  
そこはいたずらしちゃ  
だめえ…

ああん…

そ、そんなに  
触られたらあゝ...

はあ...はあ...  
ああん...周りにも  
見られちゃってるうゝ...

はあああ...

グチュッ

お姉さんの水着姿が  
エロすぎるから  
みんな見ているんだよ

だめ...  
水着がずれて  
乳首が見えちゃう...

びっしょり

びっしょり

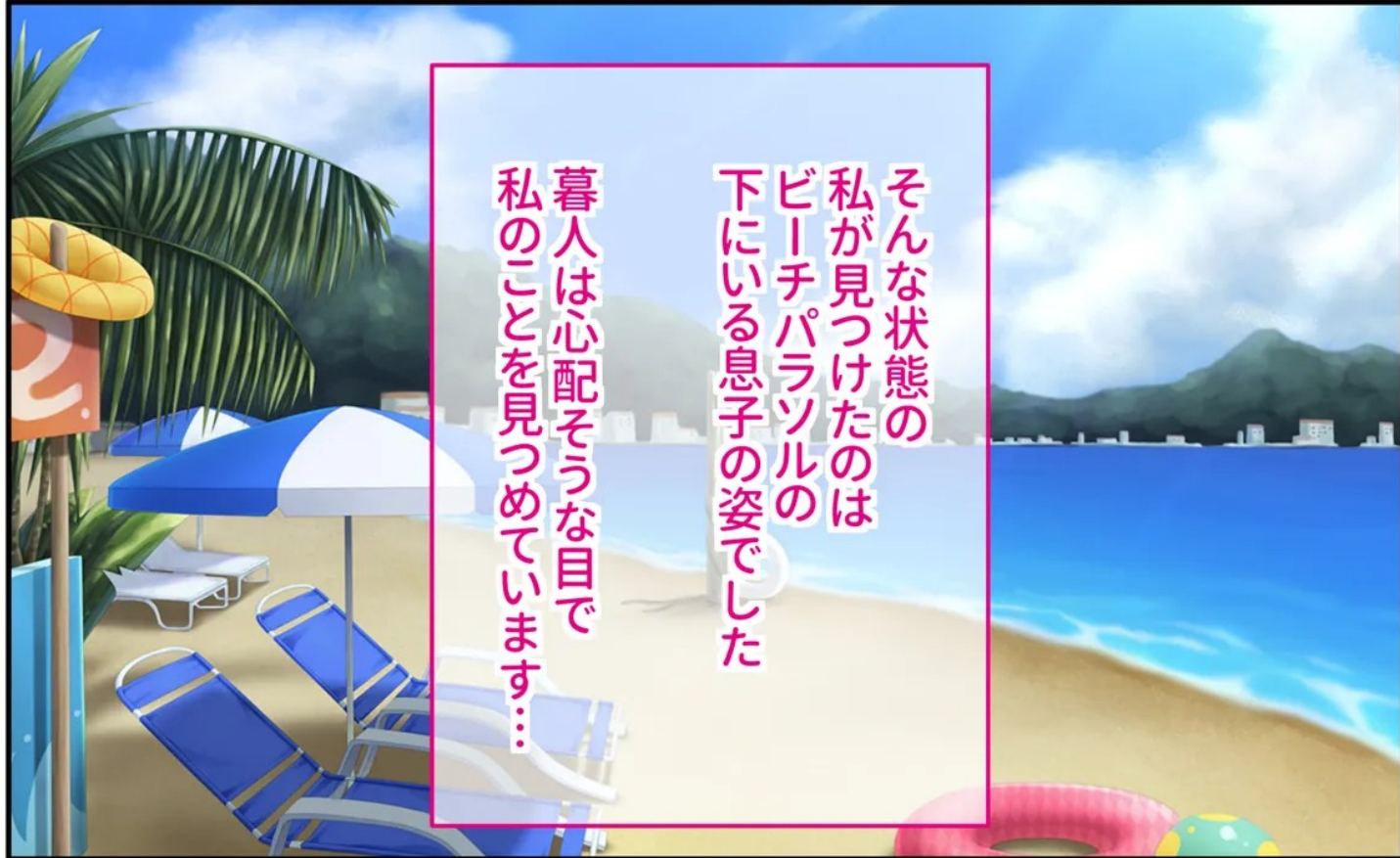


あぁっ!  
くうううっ!!

お姉さん  
イッちゃったの?

私…イカされちゃった…

でも男の子たちから  
求められてちよっと  
嬉しいかもおっ…



そんな状態の  
私が見つけたのは  
ビーチパラソルの  
下にいる息子の姿でした  
暮人は心配そうな目で  
私のことを見つめています…

ごめんね  
暮人〜

この人たちに  
海を案内して  
もらってたの

そ、そうなんだ…

その水着は  
どうしたの…？

この子たちから借りたの〜  
似合ってるかしら〜？

いや…ちよつと…  
派手かな…

あ〜お姉さん  
しっかり日焼け止めを  
塗らないと

あら  
そうね〜

ブルブル

ブルブル





あら  
そうね！

みんな  
で塗るの？

みんな  
で塗った方が  
早いですよ

ぬるっ

ぬるっ

ぬるっ



いやいや  
しっかり  
塗っておかないと  
まずいんで

んうう…  
おばさん  
困っちゃう！

ぬるっ

ぬるっ

ヌキョ



んん…うう…  
そんなところ  
までえ…

のせりっ



はあっ

はあっ

わたし…  
もう…  
あああ…!!



日焼け止めは  
大事だから  
大事なところにも  
塗らないとね〜

そこ…あああ…  
んん〜っ!

ヌル

ヌル

ヌル



あふうふう〜!!

わたしイツちやったる

日焼け止めを  
塗られただけに  
イツちやったる

ごめんなさい  
暮人……

セクッ

セクッ

セクッ

セクッ





あそこが良すぎて  
声が出ちゃうのぉ〜!

お、お願い〜  
そんなにしないでえ〜

声が出ちゃう〜

ドクッ

110キュッ

110キュッ

110キュッ

ドクッ



お姉さん  
いきそうなの?

わ、わたし...  
そんな... あああ〜...

あっ... あん...  
もうっ...  
おばさんなのにな〜...!

ドクッ

ドクッ

110キュッ

んっ...  
ふうう...!

110キュッ



んっ!ふううっ!!  
んふうううううっ...!!

はあああっ...  
あああ...はうううう...

そうして終わったと  
思ったらまた別の男の子が  
またがってきて...  
そそり立っているものを  
私の中にえぐり込んで  
くるのでした...

それから  
しばらくして：  
またあの男の子たちが  
戻ってきました

お姉さん〜

ちよっとお〜  
おばさん  
もうこれ以上は…

いやいや  
知り合いの海の家が  
繁盛しちゃって人手が  
足りないんだよ〜

バイト代  
弾むからさ  
こっちこっち！

そ、そういう  
ことなら〜…

暮人くん  
お母さん  
借りるよ〜

あつ…  
はい…

チヤラ男たちに  
連れていかれる  
義母さんを  
あの時僕が  
止めていけば…



じゃあこの焼きそば  
あっちのテーブルに  
運んで!



お待たせ  
しました…  
っあん…!!



ももも  
ももも  
むっ  
胸も困りますう〜

お客様あ  
困りますう  
お尻を触られてはう

すま



お姉さん  
エロすぎ

店が回らなく  
なっちゃったよ

はあん...わたし...  
イツちゃいそうなの

ムニッ

グチュ

グチュ

グチュ



イツちゃえよ  
みんなの前で

ムニッ

ムニッ

グチュ



だからそんなに  
しないでえ  
あそこ...そんなに  
しないでえ

グチュ

グチュ



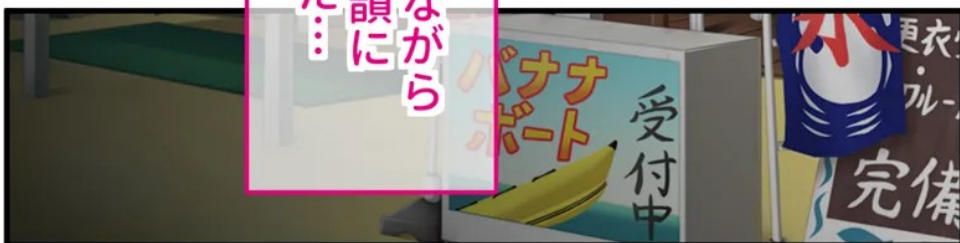
んはああっ…  
ああっ…あん…

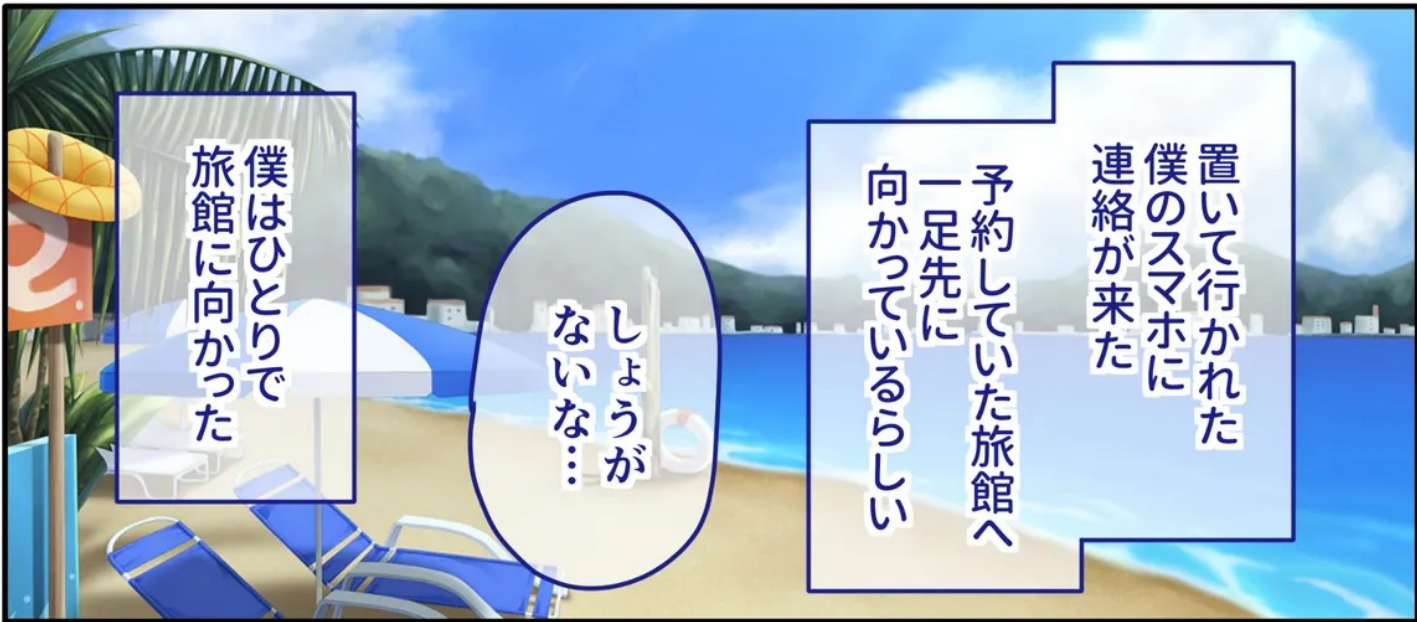
んっ！くううっ！  
ああああああっ！！

みんなの前でされるの  
そんなに気持ち  
よかったんだ



そうして潮を噴きながら  
わたしは絶頂の余韻に  
酔いしれていました…







お姉さん  
脚きれいだね〜  
よく見せてよ

えっ!

ひゃああつ!  
そんな:  
困るわあ〜

カッ

ハッ



あひっ!  
ああああん……!

いい…あそこ  
気持ちいい〜

あそこ  
気持ち  
いいんでしょ

そ、そんな  
ことお〜…

グッ!!

セクッ

セクッ



わ、わたしもうこらえられないっ！

気持ちよすぎて… あっ…はあん…

グチュッ

ドチュッ

ドチュッ

グチュッ



いくっ！  
いくううんっ！！

あああああ！！

ブルブル



次俺が行くから

いや俺だ！

ドロッ…

だ、誰か来ちゃうから…

大丈夫だよ  
使用禁止の札  
かけてきたから…



あれ〜？  
お姉さんどうしたの？

あらあ〜？  
さつきまで息子と  
部屋で夕食を  
食べていたのだけど…



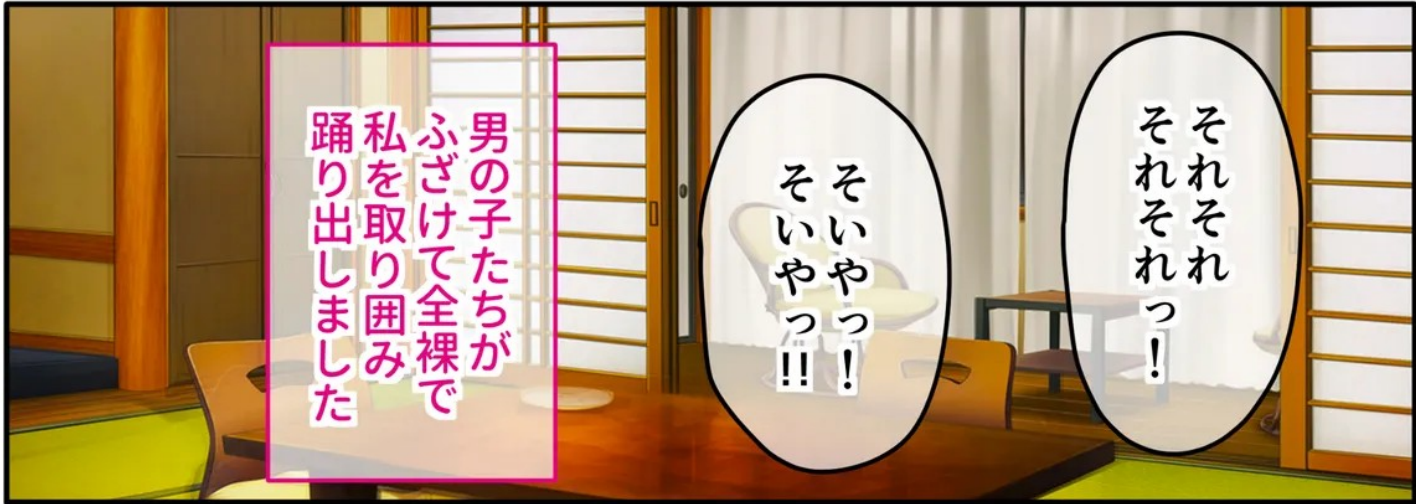
お手洗いから  
戻ってお部屋を  
間違えちゃったみたい〜

せっかくだから  
一緒に飲もうよ！

それに暑くなって  
きたしみんな  
脱ごうぜ！

え〜？  
恥ずかしいわあ

お姉さんのために  
恥ずかしくない服  
持ってきてるよ〜



男の子たちが  
ふざけて全裸で  
私を取り囲み  
踊り出しました

そいやっ！  
そいやっ！！

それそれ  
それそれっ！



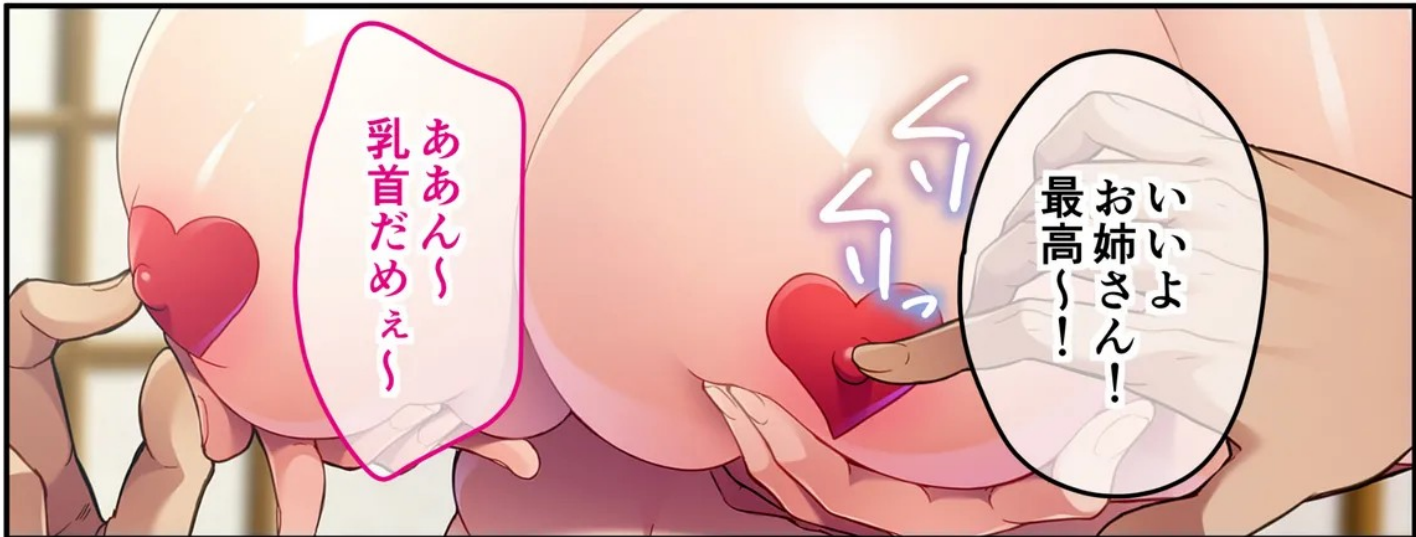
どう？  
これなら  
涼しいでしょ

ほら！  
お姉さんも俺たちの  
真似して！

ええ…  
しようがない  
なあ…

たっ

たっ



いいよ  
お姉さん！  
最高！

ああん  
乳首だめえ

くっ



夕食中に  
お手洗いに行った  
義母がなかなか  
帰ってこない…

耳を澄ませると  
隣の部屋から  
昼間の男たちと  
義母さんらしき  
声が聞こえてきた

僕が意を決して  
隣の部屋に向かうと…

何やってるの？  
僕もう夕食  
食べ終わっちゃったよ

んあつ  
ごめんねえ…  
あの男の子たちと  
飲んでいたのよ

何？  
このパンパン  
って音…

えつとお…  
男の子たちが  
手拍子して  
踊っているのよ

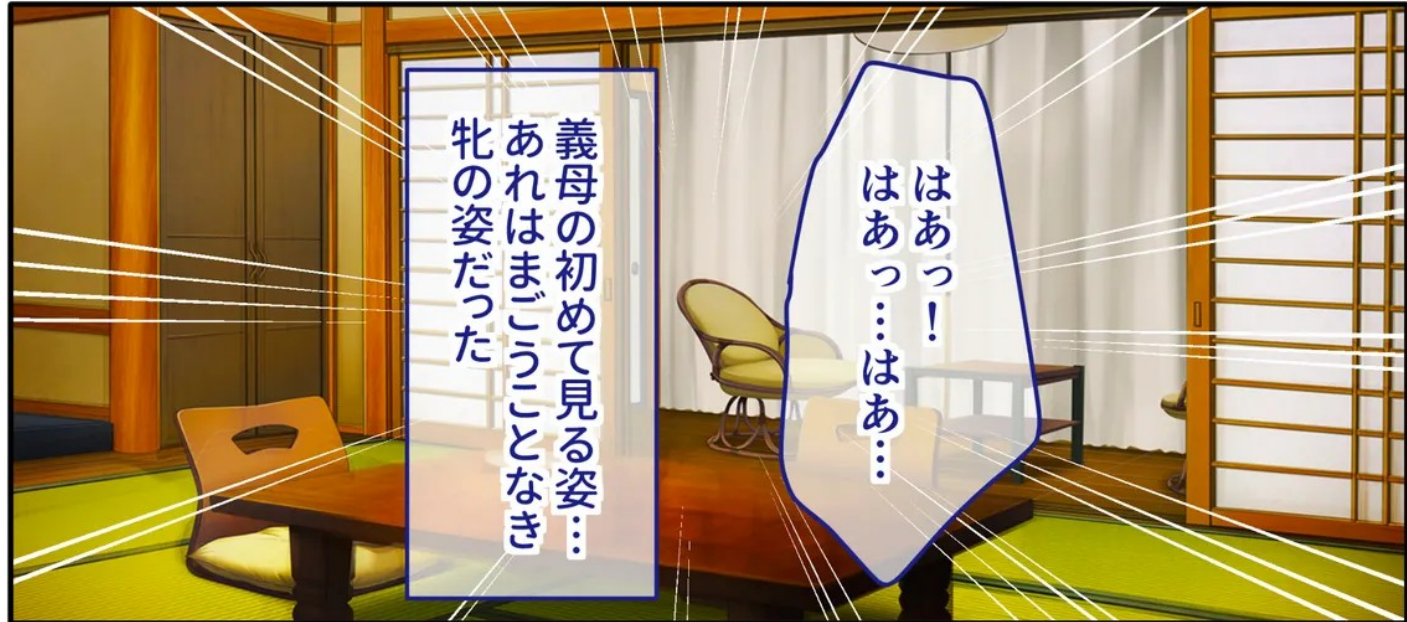


私もお…  
後でいくから…

まだあ…時間が  
かかりそうだから…  
は、はやくう…  
部屋に戻っていて…  
んはあ…

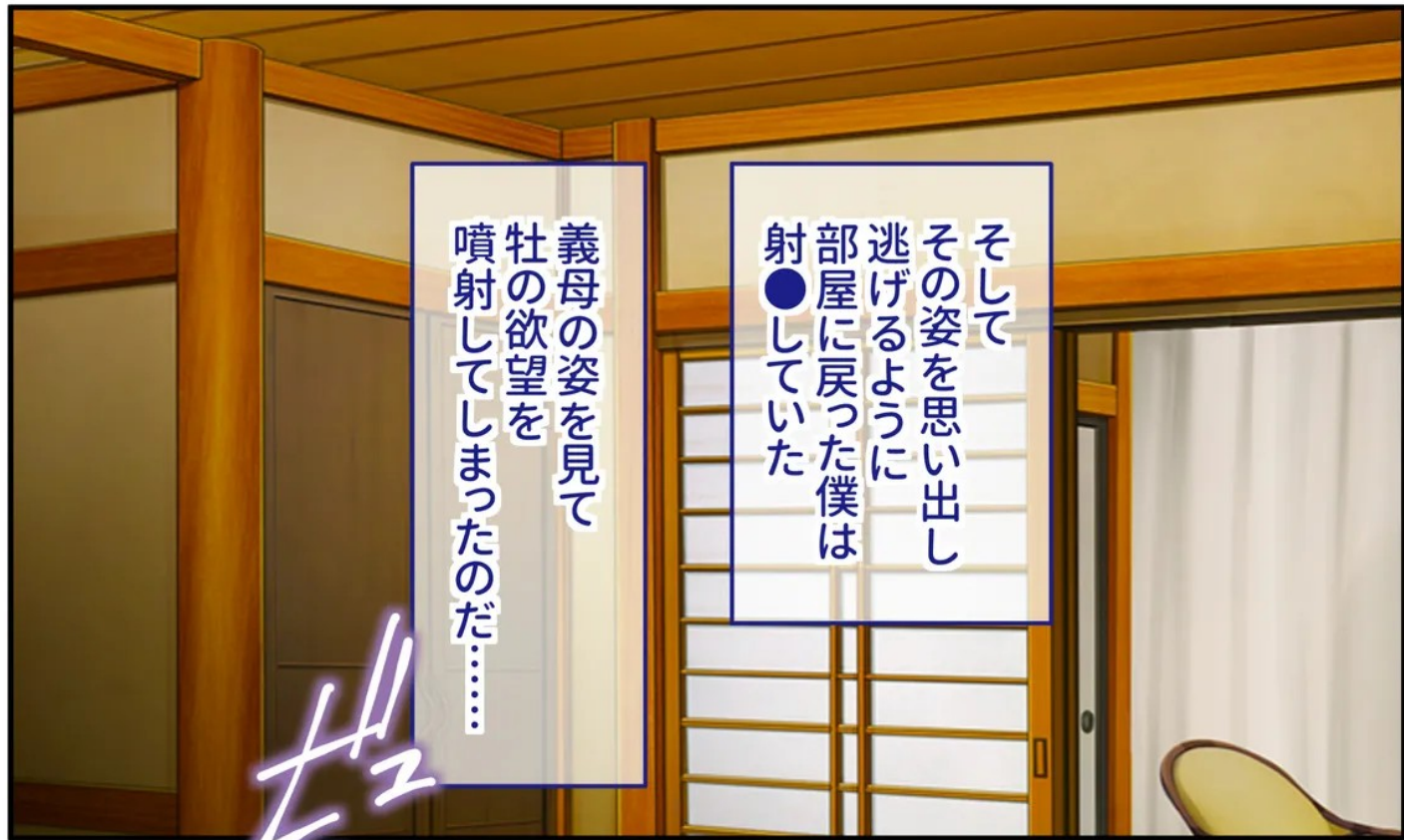


ああ…  
いくつ…いくつ…!!  
んはあああああつ!!



義母の初めて見る姿…  
あれはまごうことなき  
牝の姿だった

はあっ！  
はあっ…はあ…

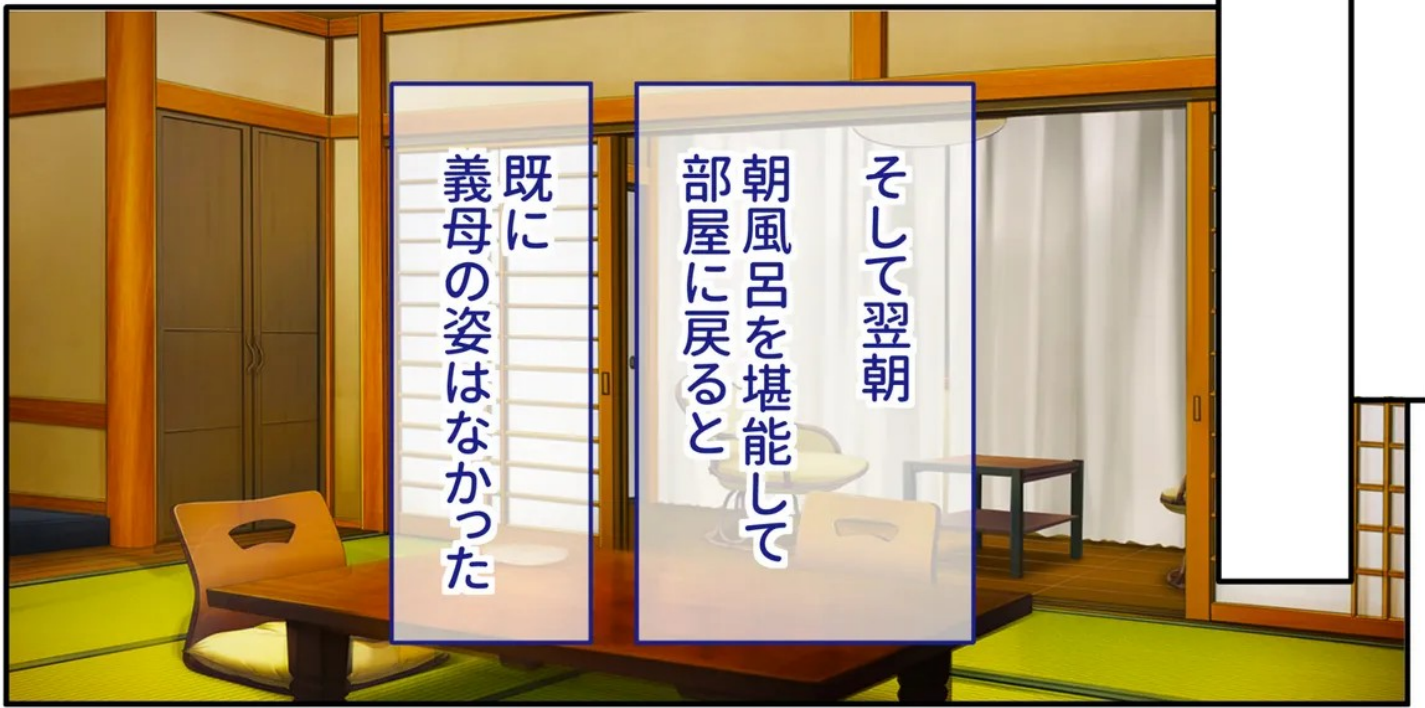


そして  
その姿を思い出し  
逃げるように  
部屋に戻った僕は  
射●していた

義母の姿を見て  
牝の欲望を  
噴射してしまったのだ…

ジュ  
ル  
ル  
ッ







きゃあつ!

て、店長さん?

ふん  
物欲しそうに  
しおって

人妻のあそこが  
どんな味わいなのか  
楽しませてもらおうか



ひっ!  
ああつ! はあんっ!!

そうか  
そんなに俺のものが  
気持ちいいか



あひいいいっ!!!





あっ…  
はあああっ!!  
いい…  
とっってもお〜

くっ…  
物欲しそうに  
吸い付いてきやがる!

おっ!!



そしてそのあとも  
私のお店にいた  
男の人たちに  
犯●れ続け…



あひいいいっ!!  
んああああっ…  
わたし…もう…!

もっ…もっとお〜  
あそこにください…

はあああっ!!

おっ!!

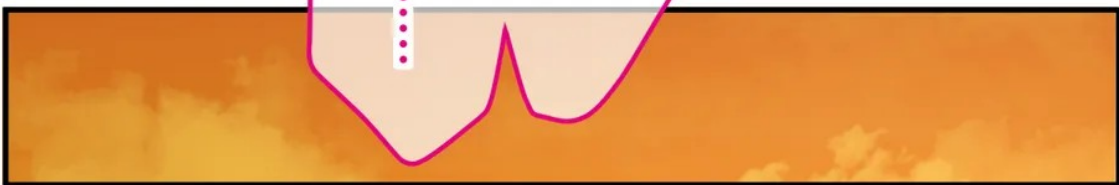
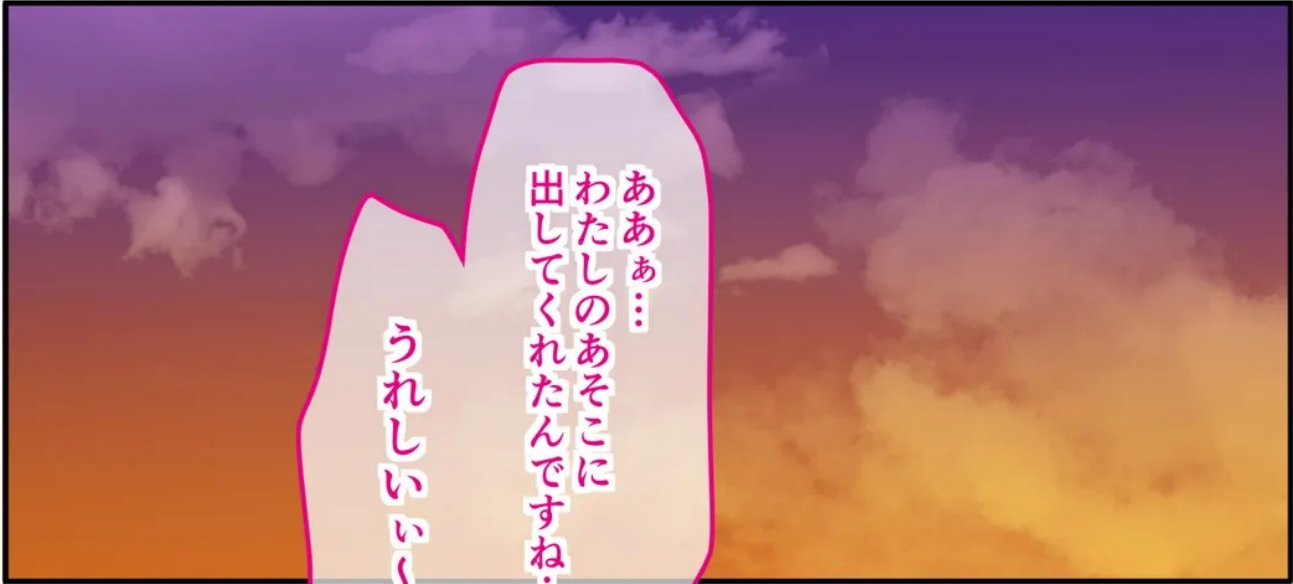
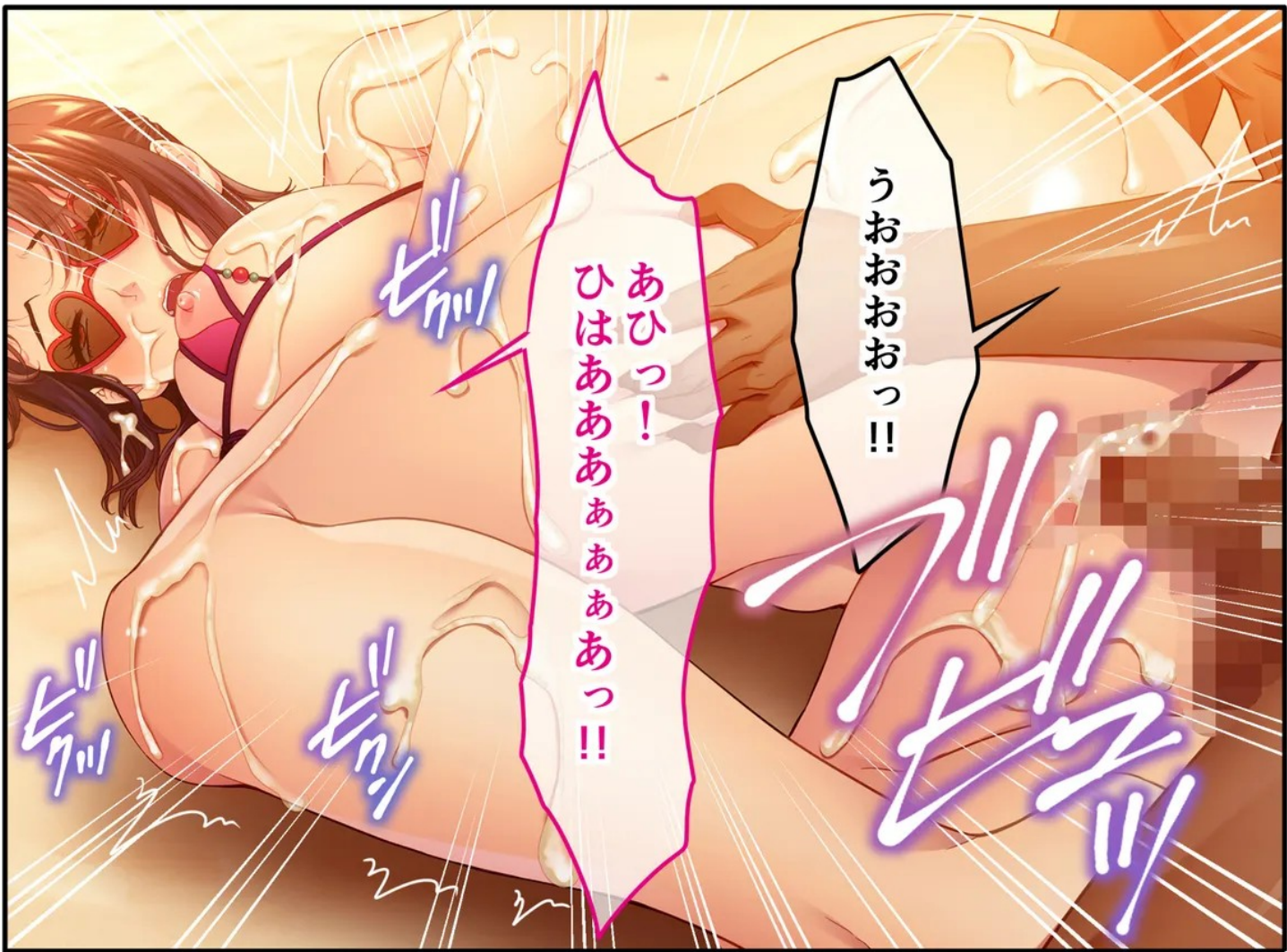
おっ!!

おっ!!

おっ!!

おっ!!

おっ!!



義母さんー!!  
どこに行った  
んだよー…

一日中  
探していた僕は…

ようやく海の家から  
少し離れた人通りに  
全裸同然で倒れている  
女性を見つけた

まさか…!!

僕の心は乱れに乱れていた

義母をこんな目に遭わせた  
男たちへの怒り…

何を求められても断れない  
義母への怒り…

そして義母を守れなかった  
自分への怒り…

それらすべてが  
ない交ぜになって…



ん……あら……？  
暮人どうして  
こんなところに……？

はあああんっ！！

くそっ！！

ズワッ！！  
ズワッ！！



はうっ！  
ぼく、もう……！！

うう……ん……？

それはこっちの  
セリフだよ  
どうして  
こんなことに……

ヒクッ！！  
ヒクッ！！



わたしももう  
イツちゃう…  
イツちゃうのおおっ!!

イクっ!!  
イクうっ!!

イクっ!!  
イクうっ!!

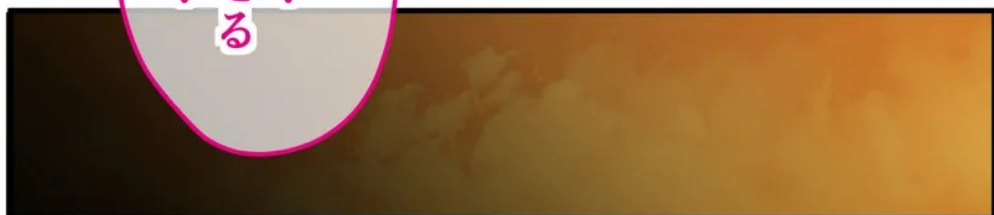
イクっ!!  
イクうっ!!

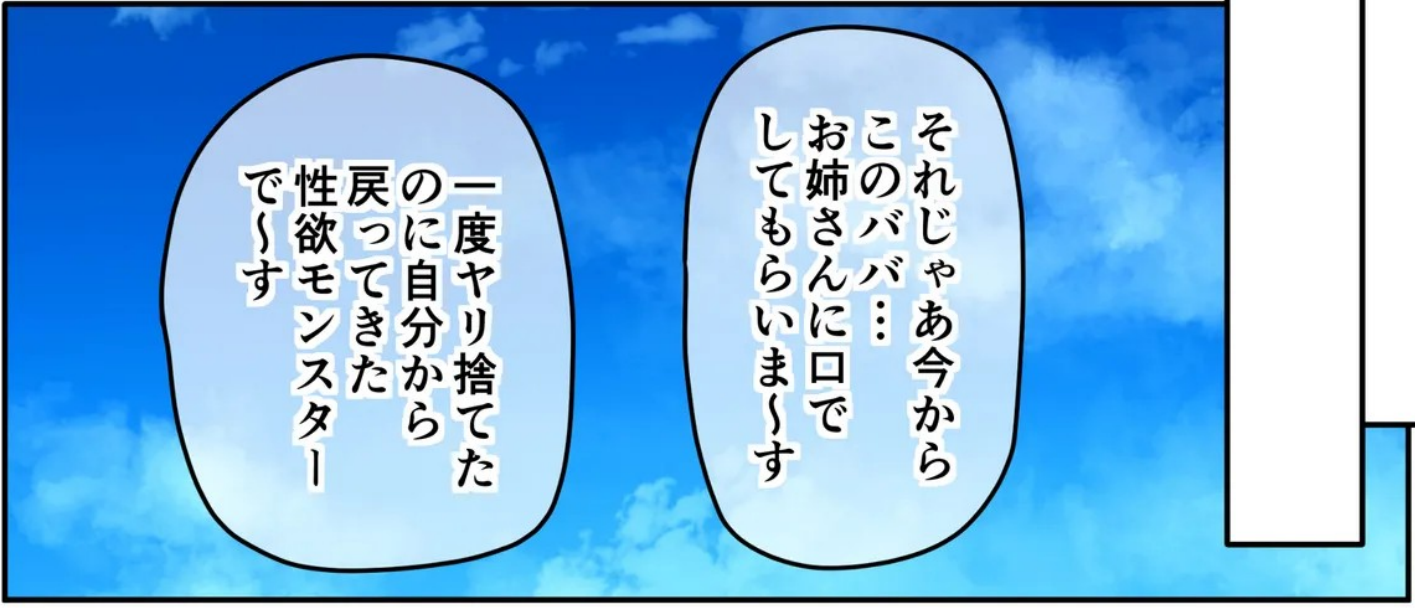
イクっ!!  
イクうっ!!



ううん  
わたしが悪いの…  
もう暮人を困らせる  
ことはしないわ…

ごめんね義母さん  
こんなことして…





一度やり捨てたのに自分から戻ってきた性欲モンスターです

それじゃあ今からこのババ...お姉さんに口でしてもらいます



もう息子にも心配かけないって言ったのにい〜

旅行から帰ってきてもあの気持ちよさを忘れられなくてえ...

動画は恥ずかしいけどサングラスかけていれば顔もバレないしい〜



んふう...

じゅわん

ふうん  
むはあ...



男なら見境なし  
って感じか

男をくわえ込む  
ためならなんでも  
するんだな

ババア  
性欲すごいな

すっご  
エロすぎだろ



んんう…  
むはあああああ…

はああああつ…



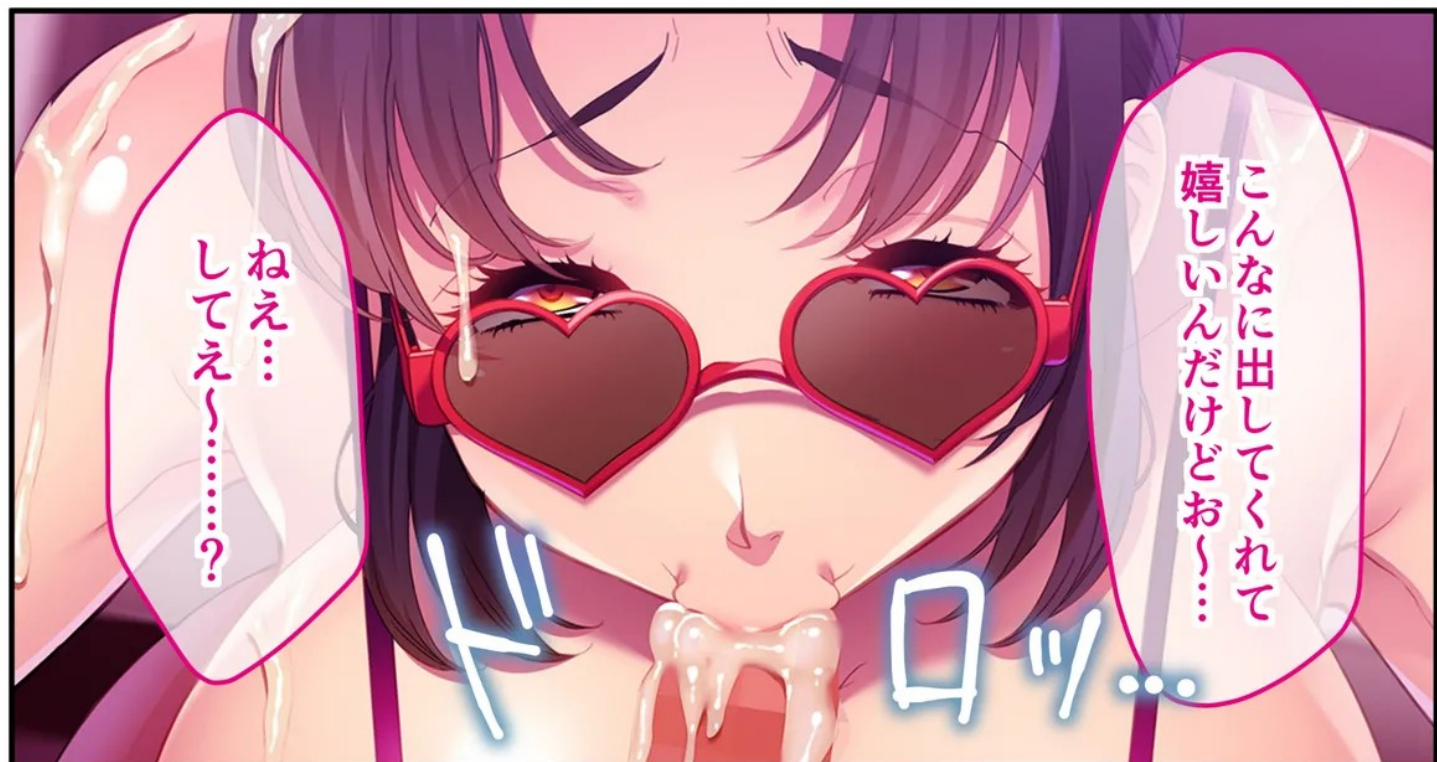
んんんんっ!!  
んふうううううっ!!

ふうふうふうふうううううっ!!

わたし…  
ご奉仕してるだけなのに  
イツちゃった…  
イツちゃったのお…

テケッ

テケッ



こんなに出してくれて  
嬉しいんだけどお…

ねえ…  
してえ…??

ハッ

口ッ…



お願い…  
もうわたし  
たまらないのお…

あああ…  
お願いだから  
ちょうだい

はっ あ…



くそっ!!

ひゃんっ!

ババア!  
エロすぎなんだよ!

すげー

あそこに  
お情けをもらって  
嬉しいのお



たくましいもので  
してもらってえ〜

あそこが  
すごくいいのお〜



あひいっ!  
ああああんっ!!

いいのお〜!



夫のよりも…  
あなたのもののほうが  
ずっといいのお〜!!

この淫乱  
ババアがっ!!

ひいっ!!



んはあああああっ!!  
わたし…  
イツちゃうううう!!

あああううれしいう  
あそこの中に…あんっ

おまえらも  
ぶっかけてやれ!

ア  
セ  
ク  
ス

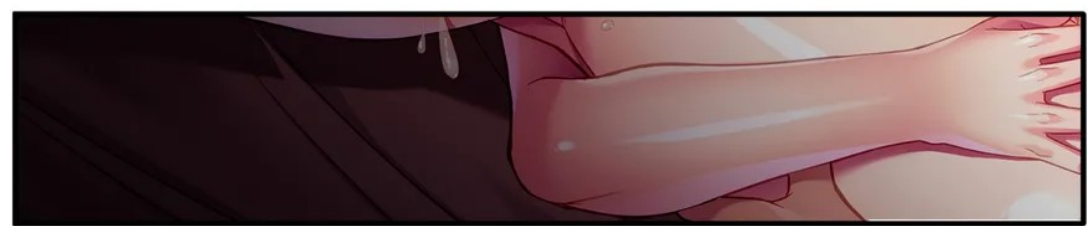


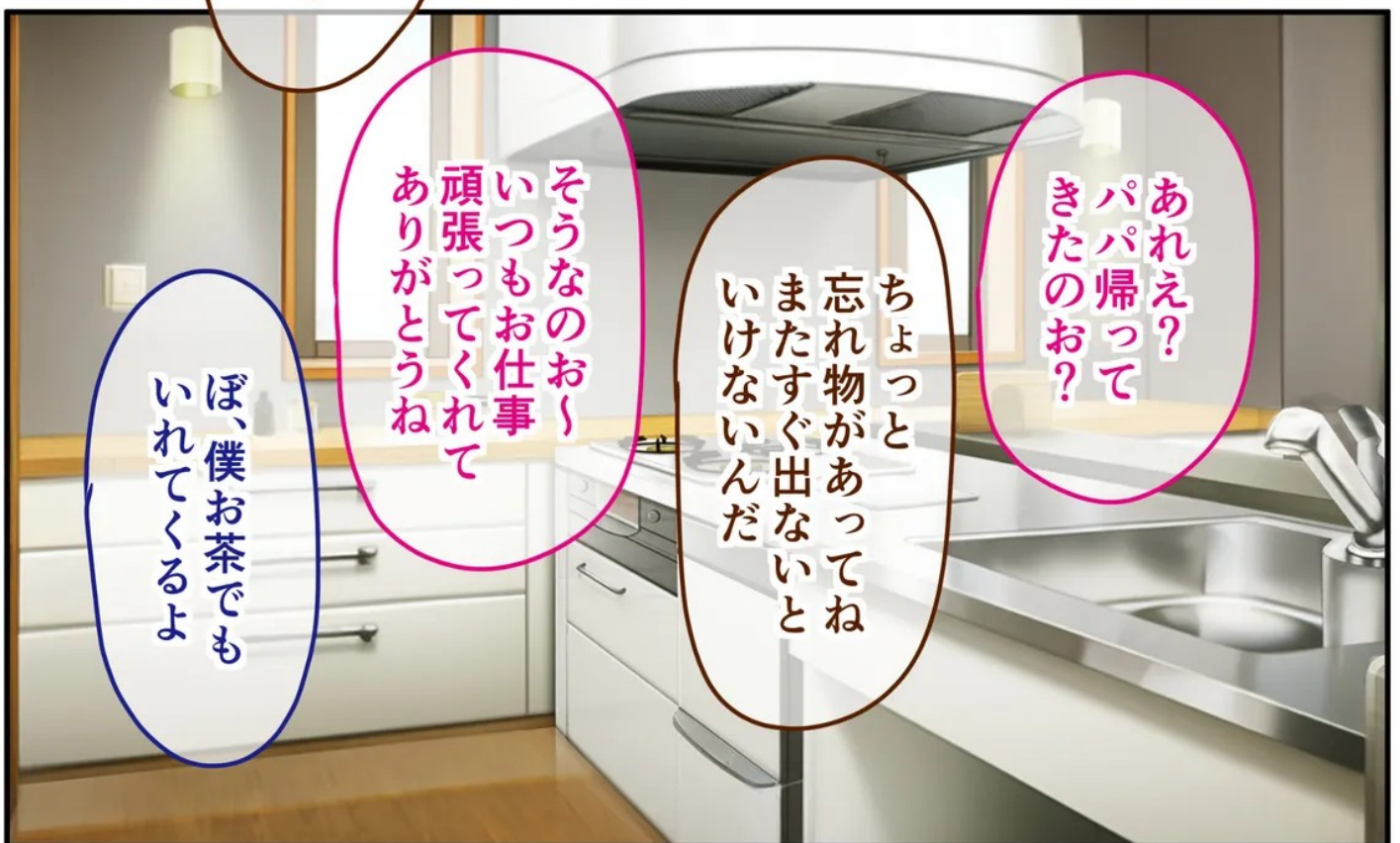
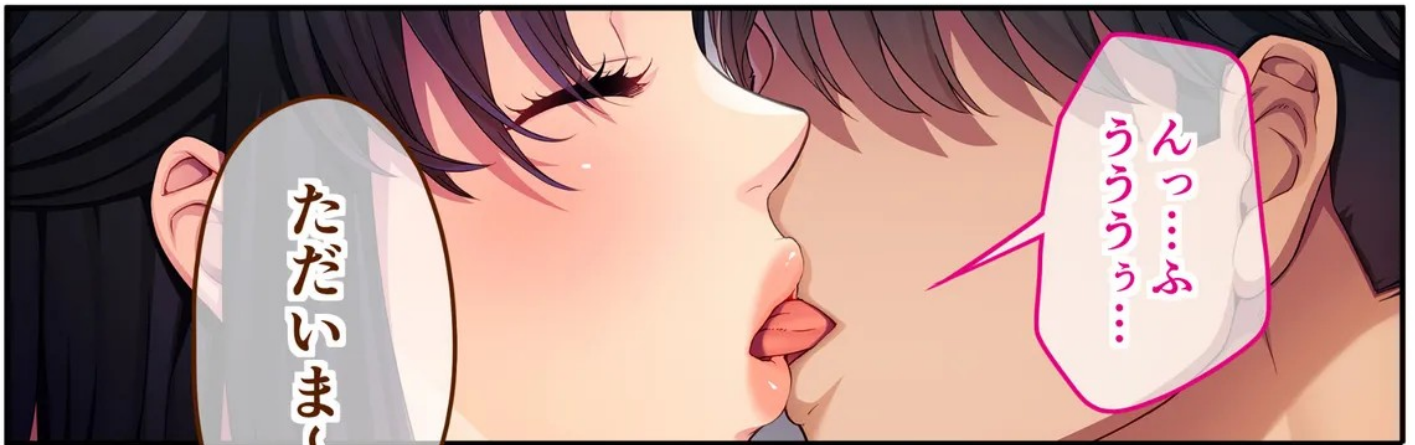
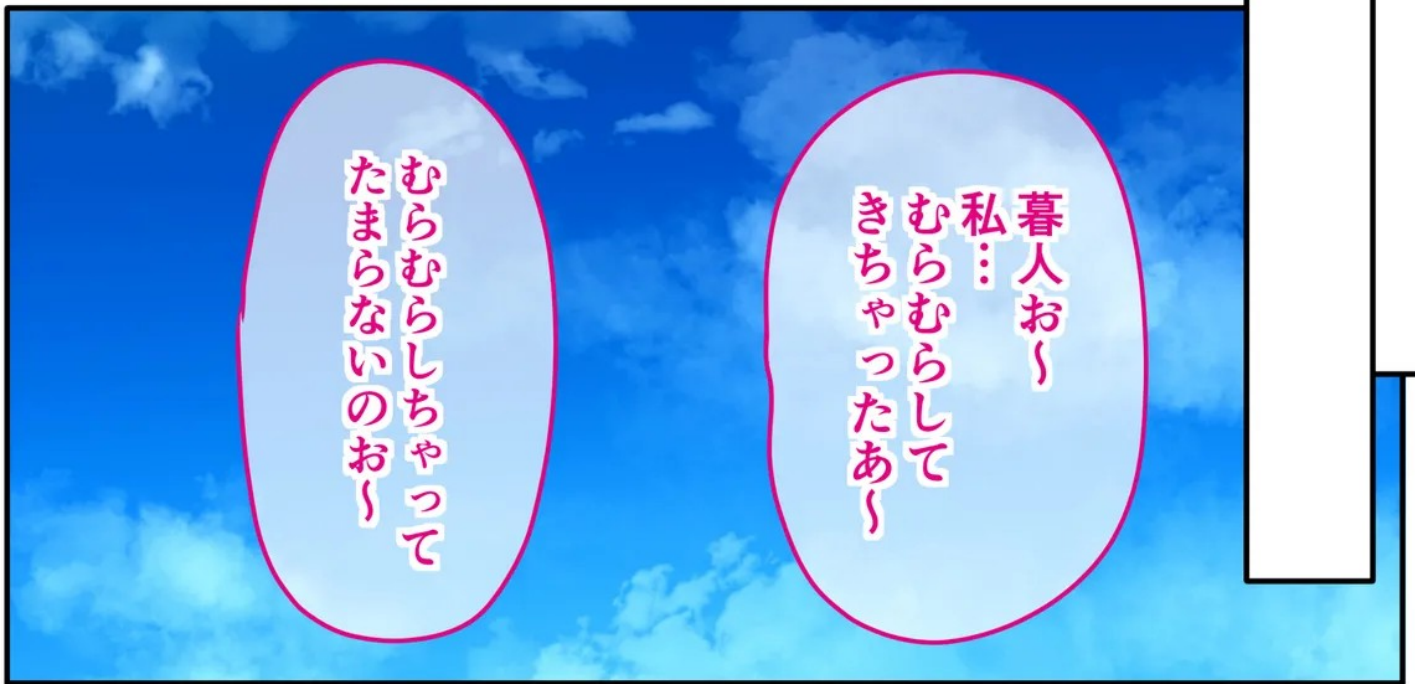
あああ…  
うれしい…

たくさん  
かけてくれて  
うれしいい…

セ  
ク  
ス

セ  
ク  
ス







ちよ、  
ちよっと  
義母さん...!

んっ!!  
んんうっ

ぐほ

ぐほ

ぐほ

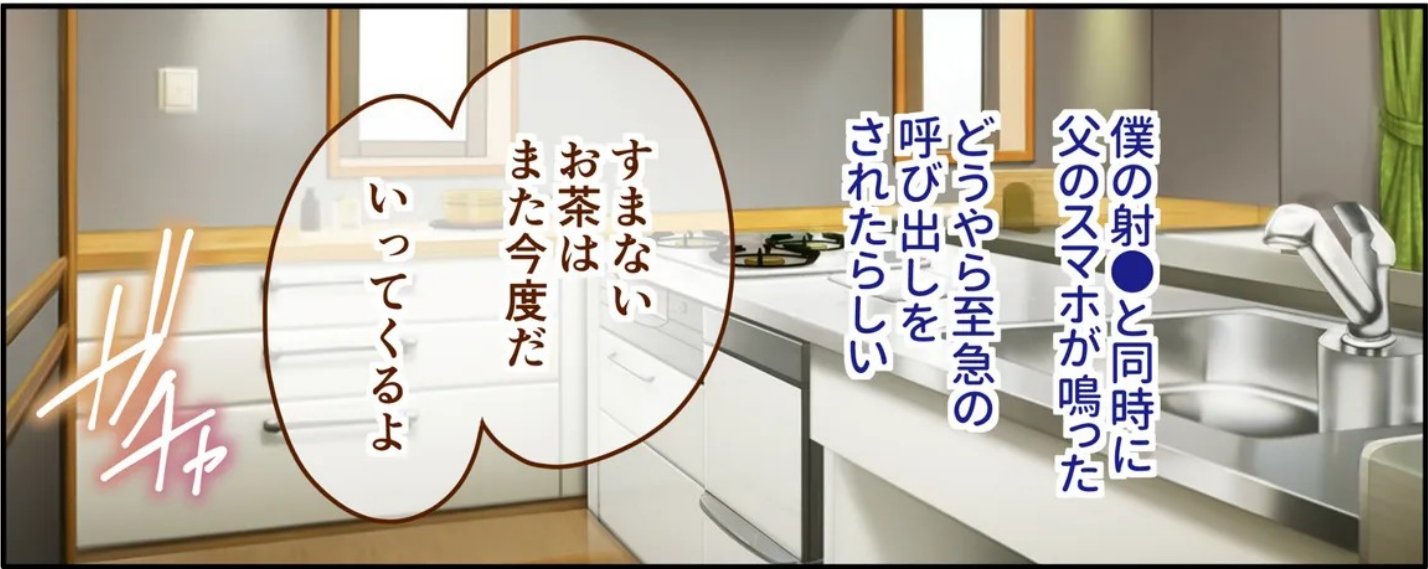


んっ!!  
ふうふうふうふう!!

んんんううう...

ぐほ  
ぐほ

ぐほ  
ぐほ



すまない  
お茶は  
また今度だ  
行ってくるよ

僕の射●と同時に  
父のスマホが鳴った  
どうやら至急の  
呼び出しを  
されたらしい

カチャ





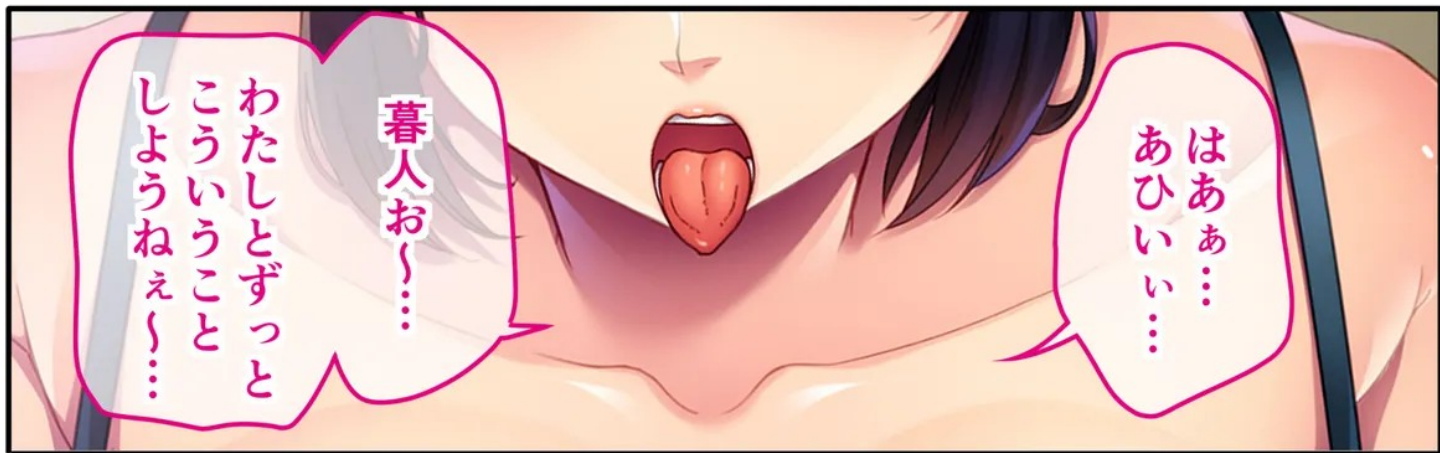
わたし：  
もうイきそう  
なのお〜

んはあっ！  
あひいいい…



いくっ！  
イクうううううう！！

んはあああああああっ！！



はあぁ…  
あひいいい…

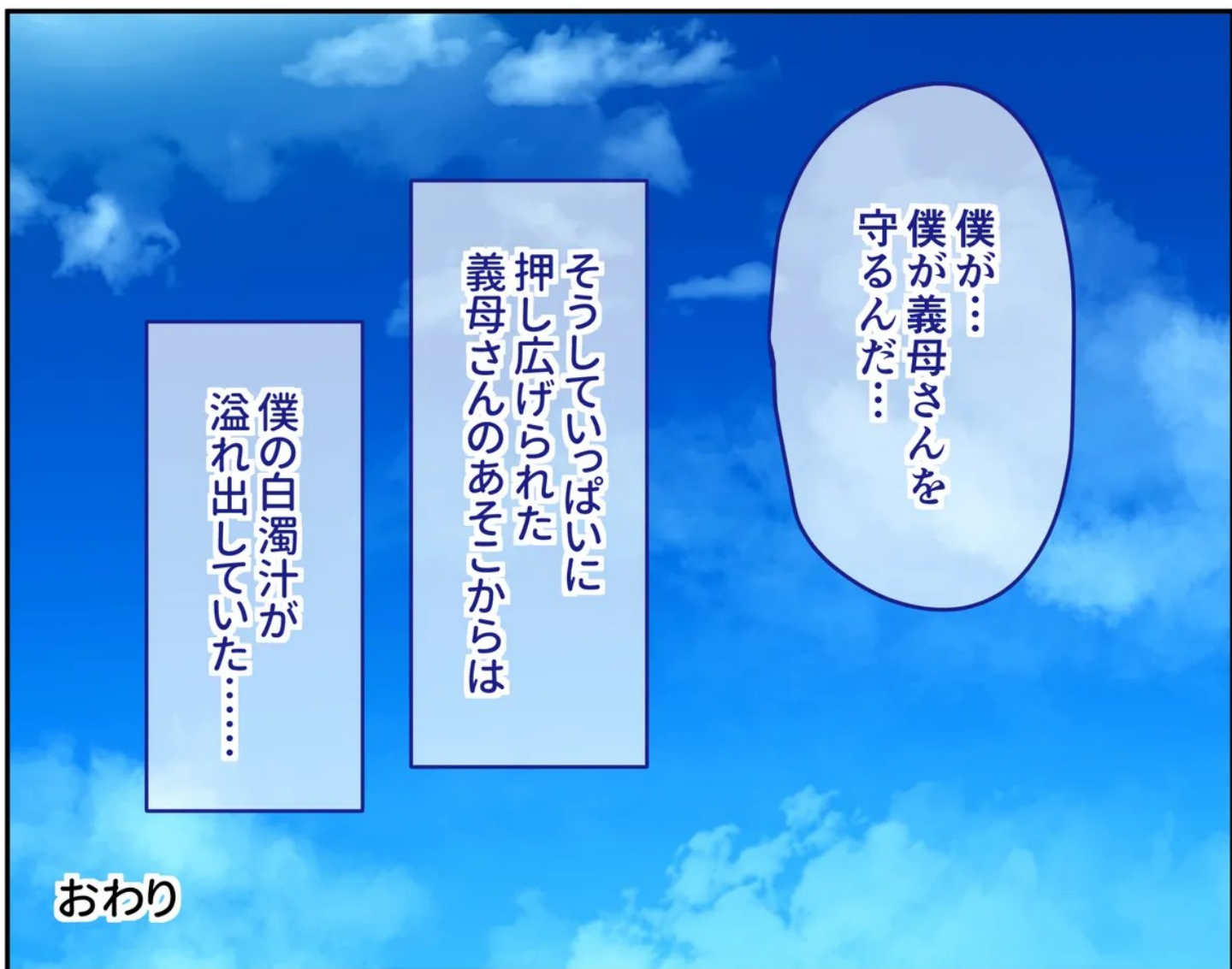
暮人お〜…

わたしとずっと  
こういうこと  
しようねえ〜…



うん…  
そうだね…

これからは  
僕が  
義母さんを  
守っていく  
息子として  
男として……



僕が…  
僕が義母さんを  
守るんだ…

そうしていっぱい  
押し広げられた  
義母さんのあそこからは

僕の白濁汁が  
溢れ出していた……

おわり

大人の禁SEXY絵本

©アパタイト